

町田市議会
第4回定例会
11/30~12/23

コロナ“第3波”から市民の命・暮らしを守る積極提案

日本共産党



境川・森野付近で戯れるコサギ

2020年町田市議会第4回定例会が行われ、日本共産党市議団は、新型コロナウイルス「第3波」の感染拡大から市民の命と暮らし・営業を守るため議会論戦に奮闘しました。新型コロナウイルス感染防止事業が盛り込まれた一般会計補正予算は全会一致で可決。室内プールなど体育施設や市民農園などの使用料値上げの「条例」改正に、日本共産党は反対しました。

医療職員のPCR検査実施、家賃補助実施を

日本共産党市議団は、一般質問で、新型コロナウイルス感染爆発を抑え、市民の命、暮らしを守る対策を提案しました。殿村健一市議は、市民病院職員の定期的なPCR検査や保健所職員の増員、学校や保育所などの職員、高齢者の検査を求めました。「1000人の職員のPCR検査は

財政的に困難」と市民病院事務長が答弁。佐々木とも子市議は、コロナの影響で営業困難な市内事業所への家賃補助制度第3弾の実施や年末年始の生活困窮者に対応する相談窓口設置などを求めました。細野りゅう子市議は、福祉施設にとって負担の重い衛生用品の支給を求めました。また、健康福祉常任委員会提出の「市民病院の医療従事者への支援を求める決議」が全会一致で可決しました。

介護・障がい者施設にPCR検査補助実現

第4回定例会のコロナ関連予算では、重症化リスクが高い高齢者や障がい者の介護施設（主に入所系）の職員などに対してPCR等検査を実施する補助金1億1980万円が予算化されました。日本共産党市議団が求め東京都が予算をつけ、党市議団の一般質問（第3回定例会）や要望書を通じて要求。町田市として実現することになりました。

その他、家族が感染して介護ができなくなった要介護高齢者を預かる病床を確保する予算や新型コロナウイルス陽性者が発生して10日以上休業が要請された店舗等に対して協力金50万円を支給する事業や市民病院でのECMO（体外式人工肺）等の購入予算が盛り込まれました。

コロナ感染予防対策を要望書で提案

共産党市議団は、PCR検査の拡充や陽性者を受け入れる療養施設の増設など、コロナ感染予防対策を求める市民の切実な声を要望書として提出。直近では自宅療養者への食事・日用品の配給やパルスオキシメーターの貸与、陽性者が出た介護施設などの全職員、施設利用者へのPCR検査実施補助などを求めました。引き続き、お困りごとは党市議団までご相談ください。解決に力をあわせてみます。

16校も小学校がなくなる!? 小中学校統廃合計画は見直しを

コロナ禍のもとで、ゆとりあるきめ細やかな教育を求める世論が高まり、来年度から5年間で小学校の35人学級を実施すると文科省が発表しました。一方、町田市では、学校統廃合の対象校を話し合う「まちだの新たな学校づくり審議会」が進められています。昨年、町田市が実施した「まちだの新たな学校づくりアンケート」には、通学路がのびることへの不安（低学年で歩けるか、夏の猛暑、事故、不審者）が大多数の方から寄せられています。また、統廃合自体の賛否を問う項目がないにもかかわらず、審議会ではアンケート結果について「約98%が積極的または消極的ながらも学校統廃合を含めた通学区見直しに賛成またはやむを得ないという意見」とまとめていることは問題です。



学校は、地域コミュニティの核であり、防災の拠点でもあります。日本共産党は「統廃合よりも少人数学級でゆとりある教育を子どもたちに」という声と連携して、統廃合計画の見直しを求めてがんばります。

各地区の小中学校統廃合対象校

鶴川地区	町田地区	南地区	忠生地区	堺地区
鶴川二小 鶴川三小	町田三小 本町田東小 本町田小	南二小 南成瀬小	小山田小 小山田南小	相原小 大戸小
鶴川一小 大蔵小	町田六小 高ヶ坂小 南大谷小	南三小 南四小	忠生三小 木曾境川小	堺中 武蔵岡中
金井小 藤の台小	町田三中 山崎中	つくし野小 南つくし野小	忠生小 山崎小 図師小	
薬師中 金井中		成瀬台小 成瀬中央小	忠生中 小山田中	

新型コロナウイルスに関する相談先

* 息苦しさ、だるさ、高熱などの症状がある場合は、まずかかりつけ医に電話でご相談ください。かかりつけ医がない場合など相談の医療機関に迷う場合は下記の連絡先にご相談ください。

問い合わせ先	電話番号	受付時間
町田市 発熱相談センター	042-724-4238	平日午前9時～ 午後5時
東京都 発熱相談センター	03-5320-4592	24時間 (土・日・祝日含む)